
プログラム

11月6日(木) 第1会場 (KDDI維新ホール 1F メインホール)

8:50~10:10	シンポジウム1「がん免疫療法のプレシジョンメディシン」	14
10:15~11:35	ワークショップ1「腫瘍免疫学の最前線1」	14
11:50~12:50	ランチョンセミナー1「肝細胞癌薬物療法のCutting Edge」	15
13:35~14:40	特別講演1 「[集い・学ぶ] から生まれるPrecision Surgery：橋渡し研究の現在地と展望」	15
14:45~16:05	シンポジウム2「がん克服に向けた次世代免疫制御」	15
16:10~17:30	パネルディスカッション「地域がん診療の選択と集中」	16

11月6日(木) 第2会場 (KDDI維新ホール 2F 205)

9:25~10:05	一般演題1「臨床：胃」	17
10:10~10:50	一般演題2「基礎：大腸」	17
10:55~11:35	一般演題3「バイオマーカー1」	18
11:50~12:50	ランチョンセミナー2 「HER2陽性胃癌におけるがん免疫微小環境とその治療戦略」	18
14:45~15:25	一般演題4「臨床：大腸」	19
15:30~16:10	一般演題5「基礎：治療標的」	19
16:15~17:03	一般演題6「バイオマーカー2」	20

11月7日(金) 第1会場 (KDDI維新ホール 1F メインホール)

9:00~10:30	ワークショップ2「腫瘍免疫学の最前線2」	21
10:35~11:40	特別講演2「臨床現場とデータ科学をつなぐAIシステム医学」	21
11:50~12:50	ランチョンセミナー3「進化する胃癌治療－免疫療法への期待と可能性－」	22
13:25~14:45	シンポジウム3「がん免疫治療の最前線(臨床)」	22

11月6日(木) 第1会場(KDDI維新ホール 1F メインホール)

8:50~10:10 シンポジウム1「がん免疫療法のプレシジョンメディシン」

座長：松原 久裕(地方独立行政法人さんむ医療センター疾病予防センター)
西塔 拓郎(大阪大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍免疫学)

- S1-1 シングルセル解析を用いたリンパ節中の腫瘍反応性T細胞の解析**
(基調講演) 清谷 一馬(きよたに かずま)
医薬基盤・健康・栄養研究所 難病・免疫ゲノム研究センター 難病・免疫ゲノム研究プロジェクト
- S1-2 StageIV胃癌Conversion手術症例における免疫学的因子も含む予後因子解析**
三木 友一朗(みき ゆういちろう)、西山 方規、関 由季、笠島 裕明、渋谷 雅常、豊川 貴弘、前田 清
大阪公立大学大学院医学研究科 消化器外科学
- S1-3 dMMR/MSI-H大腸癌に対するプレシジョンメディシンの可能性**
坂元 直行(さかもと なおゆき)
朝日大学病院 消化器内科
- S1-4 イメージング・マス・サイトメトリーによる非小細胞肺癌の空間解析の有用性**
濱田 和幸(はまだ かずゆき)、山口 光、丸谷 慶将、猪俣 頌、峯 勇人、渡部 晶之、尾崎 有紀、武藤 哲史、岡部 直行、鈴木 弘行
福島県立医科大学 呼吸器外科
- S1-5 新規複合免疫製剤による肝細胞癌免疫原性の向上と症例層別化に向けた探索的検討**
小佐々 貴博(おざさ たかひろ)¹⁾、中島 正夫¹⁾、恒富 亮一¹⁾、木村 祐太¹⁾、松井 洋人¹⁾、新藤 芳太郎¹⁾、徳光 幸生¹⁾、田中 宏典¹⁾、西山 光郎¹⁾、渡邊 裕策¹⁾、友近 忍¹⁾、飯田 通久¹⁾、高橋 秀典¹⁾、井岡 達也²⁾、碓 彰一³⁾、玉田 耕治⁴⁾、永野 浩昭¹⁾
¹⁾ 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学
²⁾ 山口大学医学部附属病院 腫瘍センター
³⁾ 周南記念病院 外科
⁴⁾ 山口大学大学院医学系研究科 免疫学

10:15~11:35 ワークショップ1「腫瘍免疫学の最前線1」

座長：大西 秀哉(大阪医誠会がん・神経難病治療クリニック)
前田 清(大阪公立大学大学院医学研究科 消化器外科)

- W1-1 エピトープスプレディングを基盤とした次世代CAR-T細胞による固形がん治療法の開発**
(基調講演) 安達 圭志(あだち けいし)^{1,2)}、玉田 耕治^{1,2)}
¹⁾ 山口大学大学院医学系研究科 免疫学
²⁾ 山口大学 細胞デザイン医科学研究所 先進細胞治療研究部門
- W1-2 腫瘍内細菌叢とTLSの関連**
猪俣 頌(いのまた しょう)¹⁾、濱田 和幸¹⁾、尾崎 有紀¹⁾、武藤 哲史¹⁾、鈴木 喜貴²⁾、丸谷 慶将¹⁾、山口 光¹⁾、渡部 晶之¹⁾、岡部 直行¹⁾、鈴木 弘行¹⁾
¹⁾ 福島県立医科大学 呼吸器外科学講座
²⁾ 福島県立医科大学 微生物学講座
- W1-3 大腸癌における血管内皮グリコカリックスが腫瘍免疫に及ぼす影響についての検討**
遠藤 真英(えんどう まさひで)¹⁾、富田 弘之²⁾、藤林 勢世¹⁾、近石 和花菜¹⁾、三井 載基¹⁾、横井 亮磨¹⁾、洞口 岳¹⁾、畑中 勇治¹⁾、松本 圭太¹⁾、久野 真史¹⁾、林 弘賢¹⁾、原 明²⁾、松橋 延壽¹⁾
¹⁾ 岐阜大学医学部附属病院消化器外科
²⁾ 岐阜大学医学部附属病院腫瘍病理

W1-4 大腸癌切除例における腫瘍浸潤好酸球の臨床的意義

梅田 一生 (うめだ いっせい)¹⁾、幕谷 悠介¹⁾、波江野 真大¹⁾、小林 由香里²⁾、長岡 考治²⁾、垣見 和宏²⁾、上田 和毅¹⁾、川村 純一郎¹⁾

¹⁾ 近畿大学病院 外科

²⁾ 近畿大学病院 免疫学教室

W1-5 局所免疫および全身免疫栄養指標の併用による結腸直腸癌術後予後予測の検討

丹田 秀樹 (たんだ ひでき)、渋谷 雅常、月田 智也、関 由季、黒田 顕慈、笠島 裕明、三木 友一朗、吉井 真美、田村 達郎、豊川 貴弘、前田 清

大阪公立大学大学院医学研究科 消化器外科学

11:50~12:50 ランチョンセミナー1「肝細胞癌薬物療法のCutting Edge」

座長：古瀬 純司 (神奈川県立がんセンター)

LS1 肝細胞癌薬物療法のCutting Edge

工藤 正俊 (くどう まさとし)

近畿大学医学部 消化器内科

共催：エーザイ株式会社

13:00~13:30 評議員会

13:35~14:40 特別講演1「[集い・学ぶ] から生まれるPrecision Surgery：橋渡し研究の現在地と展望」

座長：永野 浩昭 (山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学)

SL1 「集い・学ぶ」から生まれるPrecision Surgery：橋渡し研究の現在地と展望

三森 功士 (みもり こうし)

九州大学病院別府病院 外科

14:45~16:05 シンポジウム2「がん克服に向けた次世代免疫制御」

座長：中面 哲也 (国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫療法開発分野)

鈴木 義行 (福島県立医科大学医学部 放射線腫瘍学講座)

S2-1 膵臓癌に対するp53武装化腫瘍融解ウイルス療法の開発

(基調講演)

田澤 大 (たざわ ひろし)^{1,2)}、黒田 新士¹⁾、菊地 寛次¹⁾、垣内 慶彦¹⁾、金谷 信彦¹⁾、浦田 泰生³⁾、香川 俊輔¹⁾、藤原 俊義¹⁾

¹⁾ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学

²⁾ 岡山大学病院 新医療研究開発センター

³⁾ オンコリスバイオファーマ

S2-2 胃癌ICIs単剤療法における骨格筋と治療効果の関連：身体活動による治療増強の可能性

早野 康一 (はやの こういち)¹⁾、有松 夏子²⁾、松本 泰典¹⁾、藏田 能裕¹⁾、中野 明¹⁾、関野 伸史¹⁾、白石 匡¹⁾、豊住 武司¹⁾、上里 昌也¹⁾、雨宮 歩²⁾、大平 学¹⁾、松原 久裕¹⁾

¹⁾ 千葉大学 医学部 先端応用外科

²⁾ 千葉大学 看護学部

S2-3 進行・再発胃癌における転移性リンパ節へのnon-ablative局所放射線治療とnivolumabを用いた複合がん免疫療法の可能性について

三村 耕作 (みむら こうさく)^{1,2)}、鈴木 義行³⁾、中嶋 正太郎^{1,4)}、吉本 由哉^{3,5)}、松井田 元¹⁾、林下 宗平¹⁾、河野 浩二¹⁾

¹⁾ 福島県立医科大学 医学部 消化管外科学講座

²⁾ 福島県立医科大学 医学部 輸血・移植免疫学講座

³⁾ 福島県立医科大学 医学部 放射線腫瘍学講座

⁴⁾ 福島県立医科大学 寄付講座 癌集学的治療地域支援講座

⁵⁾ 福島県立医科大学 先端臨床研究センター

S2-4 固形癌における腫瘍内制御性T細胞を標的とした治療法の探索

西塔 拓郎 (さいとう たくろう)^{1,2)}、黒川 幸典²⁾、江口 英利²⁾、土岐 祐一郎²⁾、上田 龍三³⁾、和田 尚¹⁾

¹⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍免疫学

²⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学

³⁾ 名古屋大学大学院医学系研究科 免疫学教室

S2-5 肝細胞癌克服に向けた新規周術期免疫療法の取り組み

中島 正夫 (なかじま まさお)¹⁾、恒富 亮一¹⁾、小佐々 貴博¹⁾、木村 祐太¹⁾、松井 洋人¹⁾、新藤 芳太郎¹⁾、徳光 幸生¹⁾、
田中 宏典¹⁾、西山 光郎¹⁾、渡邊 裕策¹⁾、友近 忍¹⁾、飯田 通久¹⁾、高橋 秀典¹⁾、井岡 達也²⁾、碓 彰一³⁾、
玉田 耕治⁴⁾、永野 浩昭¹⁾

¹⁾ 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科

²⁾ 山口大学医学部 腫瘍センター

³⁾ 周南記念病院 外科

⁴⁾ 山口大学医学部 免疫学講座

16:10~17:30 パネルディスカッション「地域がん診療の選択と集中」

座長：河野 浩二 (福島県立医科大学 消化管外科学講座)

谷 眞至 (滋賀医科大学 外科学講座 (消化器・乳腺・小児・一般外科))

P-1 2040年を見据えたがん医療提供体制について

北國 大樹 (ほっこく だいき)

厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課 がん医療専門官

P-2 行政から見た地域がん診療の選択と集中

前田 和成 (まえだ かずなり)

山口県 健康福祉部 健康増進課

P-3 地域医療からみたがん診療の選択と集中 (分化・連携)

藤本 拓也 (ふじもと たくや)

山口県済生会豊浦病院 外科

P-4 消化器外科医減少に対応するがん診療の変革～山口モデルによる集約と均てん

井岡 達也 (いおか たつや)

山口大学医学部附属病院 腫瘍センター

11月6日(木) 第2会場 (KDDI維新ホール 2F 205)

9:25~10:05 一般演題1「臨床：胃」

座長：堀池 篤(昭和医科大学医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門)

O1-1 進行・再発胃癌に対する放射線治療とニボルマブ併用医師主導第1/2相臨床試験(CIRCUIT試験)：3年観察データ

鈴木 義行(すずき よしゆき)¹⁾、三村 耕作²⁾、吉本 由哉³⁾、河野 浩二²⁾

¹⁾ 福島県立医科大学 医学部 放射線腫瘍学講座

²⁾ 福島県立医科大学 医学部 消化管外科学講座

³⁾ 福島県立医科大学 先端臨床研究センター

O1-2 当院における胃癌の一次治療におけるニボルマブと化学療法併用療法の治療成績

松岡 浩平(まつおか こうへい)、三木 友一朗、西山 方規、小澤 慎太郎、石館 武三、米光 健、関 由季、黒田 顕慈、笠島 裕明、吉井 真美、田村 達郎、渋谷 雅常、豊川 貴弘、前田 清

大阪公立大学大学院医学研究科 消化器外科学

O1-3 進行胃癌に対する化学療法後の残存腫瘍における腫瘍免疫微小環境の臨床的意義

松井田 元(まついだ はじめ)、三村 耕作、滝口 千晶、林下 宗平、楡井 東、菊池 智宏、花山 寛之、岡山 洋和、中嶋 正太郎、齋藤 元伸、門馬 智之、佐瀬 善一郎、河野 浩二

福島県立医科大学 医学部 消化管外科学講座

O1-4 SOX + Nivolumab療法後にConversion手術を施行した腹膜播種陽性胃癌の1例

北原 正博(きたはら まさひろ)、藤井 敏之、木原 ひまわり、碓 彰一

周南記念病院 消化器病センター 外科

O1-5 胃癌リンパ節転移における免疫環境と予後との検討

西山 方規(にしやま まさき)¹⁾、三木 友一朗¹⁾、田中 浩明²⁾、松岡 浩平¹⁾、丹田 秀樹¹⁾、石館 武三¹⁾、小澤 慎太郎¹⁾、米光 健¹⁾、関 由季¹⁾、黒田 顕慈¹⁾、笠島 裕明¹⁾、吉井 真美¹⁾、田村 達郎¹⁾、渋谷 雅常¹⁾、豊川 貴弘¹⁾、前田 清¹⁾

¹⁾ 大阪公立大学大学院医学研究科 消化器外科学

²⁾ 泉大津メディカルセンター 消化器外科

10:10~10:50 一般演題2「基礎：大腸」

座長：川村 純一郎(近畿大学医学部 外科学教室呼吸器外科部門)

O2-1 KRAS/BRAF変異大腸癌に対するp53武装化腫瘍融解ウイルス療法とSRC阻害剤の併用効果

安井 雄一(やすい ゆういち)¹⁾、田澤 大^{1,2)}、岡田 尚大¹⁾、高橋 洋祐¹⁾、大島 圭一郎¹⁾、成田 周平¹⁾、金谷 信彦¹⁾、垣内 慶彦¹⁾、菊地 覚次¹⁾、黒田 新士¹⁾、浦田 泰生³⁾、香川 俊輔¹⁾、藤原 俊義¹⁾

¹⁾ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学

²⁾ 岡山大学病院 新医療研究開発センター

³⁾ オンコリスバイオファーマ

O2-2 PP6-PP6R3複合体は大腸癌細胞の幹細胞性を制御する

藤原 信行(ふじわら のぶゆき)^{1,2)}、恒富 亮一²⁾、木村 祐太²⁾、中島 正夫²⁾、友近 忍²⁾、永野 浩昭²⁾

¹⁾ 岡山理科大学 獣医学部 創薬学

²⁾ 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

O2-3 ICI誘導性腸炎モデルマウスに対するヒスタミンH1受容体拮抗薬セチリジンの腸炎抑制効果

倉増 敦朗(くらます あつお)¹⁾、丸山 祐樹²⁾、船山 英治³⁾、吉村 清¹⁾

¹⁾ 昭和医科大学臨床薬理研究所

²⁾ 昭和医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科学

³⁾ 昭和医科大学医科薬理学

O2-4 大腸癌ネオアンチゲンペプチドの免疫原性についての検討

尤 曉琳 (ゆう しゃおりん)¹⁾、恒富 亮一¹⁾、碓 彰一²⁾、中上 裕有樹³⁾、田中 宏典¹⁾、西山 光郎¹⁾、松井 洋人¹⁾、新藤 芳太郎¹⁾、徳光 幸生¹⁾、渡邊 裕策¹⁾、友近 忍¹⁾、前田 訓子¹⁾、飯田 通久¹⁾、井岡 達也¹⁾、高橋 秀典¹⁾、玉田 耕治⁴⁾、永野 浩昭¹⁾

¹⁾ 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

²⁾ 周南記念病院

³⁾ 下関市立大学データサイエンス学部ヘルスデータサイエンス研究室

⁴⁾ 山口大学 大学院 免疫学

O2-5 シングルセルRNA-seqを用いたCMS4大腸癌の糖鎖遺伝子プロファイリング

林下 宗平 (はやしした そうへい)、岡山 洋和、中嶋 正太郎、斎藤 勝治、滝口 千晶、松井田 元、門馬 智之、斎藤 元伸、三村 耕作、河野 浩二

福島県立医科大学 消化管外科学講座

10:55~11:35 一般演題3「バイオマーカー1」

座長：鈴木 弘行 (福島県立医科大学医学部 呼吸器外科学講座)

O3-1 MUSCAT assayを用いたがん抗原に対する血清自己抗体測定によるPACIFICレジメンの効果予測

染谷 正則 (そめや まさのり)

札幌医科大学医学部 放射線医学講座 放射線治療学分野

O3-2 原発性肺癌II-III期に対する術前化学療法+免疫チェックポイント阻害薬治療の病理学的治療効果予測の検討

伊藤 正興 (いとう まさおき)、氏家 秀樹、津谷 康大

近畿大学 外科学教室 呼吸器外科部門

O3-3 当院における胆道癌に対する2次治療の治療成績

古谷 圭 (ふるや けい)¹⁾、松隈 聡¹⁾、井岡 達也²⁾、高橋 秀典³⁾、矢ヶ部 朗¹⁾、西尾 侑祐¹⁾、岡本 昌樹¹⁾、梅野 紘希¹⁾、山本 直宗¹⁾、田浦 洋平^{1,2)}、坂野 尚¹⁾、河岡 徹¹⁾、秋山 紀雄¹⁾、山本 滋¹⁾

¹⁾ 徳山中央病院 外科

²⁾ 山口大学医学部附属病院 腫瘍センター

³⁾ 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

O3-4 腹膜播種再発と右副腎転移に対し免疫療法と放射線治療を併用し長期生存が得られた食道胃接合部癌の一例

池下 千彬 (いけした ちあき)、小西 博貴、井上 博之、西別府 敬士、小菅 敏幸、藤原 斉、塩崎 敦

京都府立医科大学 消化器外科

O3-5 質量分析および機械学習を基盤とした乳がん診断システムの開発と有用性の検証

中山 裕子 (なかやま ゆうこ)¹⁾、岩野 智彦²⁾、吉村 健太郎³⁾、市川 大輔¹⁾

¹⁾ 山梨大学医学部 外科学講座第一教室

²⁾ 山梨大学大学院総合研究部医学域 先端応用医学講座

³⁾ 山梨大学 大学院総合研究部医学域 総合医科学センター 分子生物学

11:50~12:50 ランチョンセミナー2「HER2陽性胃癌におけるがん免疫微小環境とその治療戦略」

座長：玉田 耕治 (山口大学大学院医学系研究科 免疫学講座)

LS2-1 HER2陽性胃癌における腫瘍免疫微小環境の解明

河野 浩二 (こうの こうじ)

福島県立医科大学医学部 消化管外科学講座

LS2-2 HER2陽性胃癌と免疫療法の出会いとその後へ

中山 徹馬 (なかやま いづま)

国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 消化管内科

共催：MSD株式会社 メディカルアフェアーズ・オンコロジー

14:45~15:25 一般演題4「臨床：大腸」

座長：山下 公大（神戸大学大学院 保健学研究科 病態解析学）

O4-1 臨床病情報から再発右側結腸癌の遺伝子情報を類推する重要性

吉松 和彦（よしまつ かずひこ）、矢野 修也、北川 集士、神原 啓伸、堀 昌明、太田 啓介、東田 正陽、岡田 敏正、遠藤 俊治、藤原 由規、上野 富雄

川崎医科大学 消化器外科学

O4-2 当科における大腸癌に対するPembrolizumabの使用経験

吉田 将真（よしだ しょうま）、竹田 充伸、関戸 悠紀、波多 豪、浜部 敦史、荻野 崇之、三吉 範克、植村 守、江口 英利、土岐 祐一郎

大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学

O4-3 Nivolumab + Ipilimumab療法中止後も長期間CRを維持している盲腸癌傍大動脈リンパ節転移症例

藤井 敏之（ふじい としゆき）、碓 彰一、北原 正博、木原 ひまわり

周南記念病院 消化器病センター 外科

O4-4 大腸癌に対する各種薬物療法による腫瘍局所浸潤免疫細胞の解析に基づいた複合治療が奏効した直腸がん傍大動脈リンパ節転移症例

木原 ひまわり（きはら ひまわり）、北原 正博、藤井 敏之、碓 彰一

周南記念病院 消化器病センター 外科

O4-5 進行大腸癌に対しネオアンチゲン樹状細胞ワクチン治療が奏功した1症例

大西 秀哉（おおにし ひでや）^{1,2)}、山岸 久一¹⁾、谷 幸治^{1,3)}

¹⁾ 大阪医誠会がん・神経難病治療クリニック

²⁾ 九州大学病院 胆道・脾臓・脾臓移植・腎臓移植外科

³⁾ 医誠会国際総合病院

15:30~16:10 一般演題5「基礎：治療標的」

座長：高橋 秀典（山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学）

O5-1 CNS浸潤を伴うALLに対するIL-7R標的ADC治療の創出：病態機構の解明と実用的バイオセラピーの開発

濱田 源実（はまだ もとちか）^{1,2)}、高島 大輝¹⁾、安永 正浩^{1,2)}

¹⁾ 国立がん研究センター 先端医療開発センター 新薬開発分野

²⁾ 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 先端生命科学専攻

O5-2 小細胞肺癌の低酸素環境下において、C4orf3はHIF1aの分解を調整し癌悪性形質変化に関与する

坂梨 深太（さかなし けいた）、大西 秀哉、梁井 公輔、中村 勝也、中村 雅史

九州大学大学院 臨床・腫瘍外科学

O5-3 化学療法が胃癌細胞のCLDN18.2発現に及ぼす影響の解析

中嶋 正太郎（なかじま しょうたろう）^{1,2)}、滝口 千晶²⁾、松石 彬²⁾、松井田 元²⁾、林下 宗平²⁾、齋藤 元伸²⁾、岡山 洋和²⁾、三村 耕作^{2,3)}、花山 寛之²⁾、佐瀬 善一郎²⁾、門馬 智之²⁾、河野 浩二^{1,2)}

¹⁾ 福島県立医科大学 医学部 癌集学的治療地域支援講座

²⁾ 福島県立医科大学 医学部 消化管外科学講座

³⁾ 福島県立医科大学 医学部 輸血・移植免疫学講座

O5-4 CLSPNを標的としたTCR-T細胞療法による脾癌治療の検討

三浦 秀元（みうら ひではる）^{1,2)}、村井 愛子²⁾、水江 由佳²⁾、村田 憲治²⁾、久保 輝文²⁾、塚原 智英²⁾、廣橋 良彦²⁾

¹⁾ 札幌道都病院

²⁾ 札幌医科大学 病理学講座病理第一分野

O5-5 TP53変異膵癌に対するSOAT1阻害の有効性について

原田 宗一郎 (はらだ そういちろう)¹⁾、眞木 良祐²⁾、秋田 裕史¹⁾、長谷川 慎一郎¹⁾、佐々木 一樹¹⁾、山田 大作¹⁾、富丸 慶人¹⁾、野田 剛広¹⁾、岩上 佳史³⁾、江口 英利¹⁾

¹⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学

²⁾ 市立貝塚病院 消化器外科

³⁾ 関西労災病院 外科

16:15~17:03 一般演題6「バイオマーカー2」

座長：恒富 亮一 (山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学)

O6-1 胃癌におけるPD-L1の発現およびPD-1への結合能に対するTRPV2の役割

大辻 晋吾 (おおつじ しんご)、清水 浩紀、井上 博之、西別府 敬士、小菅 敏幸、塩崎 敦

京都府立医科大学 消化器外科

O6-2 膵癌症例における末梢血CD14⁺CD31⁺CD16⁺単球の動態

橋本 真一 (はしもと しんいち)¹⁾、本林 秀規¹⁾、川井 学¹⁾、山上 裕機²⁾

¹⁾ 和歌山県立医科大学 医学部 先端医学研究所

²⁾ 昭和大学 医学部 外科学講座

O6-3 切除不能大腸癌におけるfront-line治療時の体組成変化がlate-lineの治療効果に及ぼす影響

渋谷 雅常 (しぶたに まさつね)、丹田 秀樹、月田 智也、西山 毅、関 由季、小澤 慎太郎、石舘 武三、米光 健、黒田 顕慈、笠島 裕明、三木 友一朗、吉井 真美、田村 達郎、豊川 貴弘、前田 清

大阪公立大学大学院 消化器外科

O6-4 肝癌幹細胞様細胞におけるNK細胞からの免疫逃避

兼定 弦 (かねさだ げん)¹⁾、恒富 亮一^{1,2)}、木村 祐太¹⁾、中島 正夫¹⁾、田中 宏典¹⁾、松井 洋人¹⁾、新藤 芳太郎¹⁾、徳光 幸生¹⁾、渡邊 裕策¹⁾、友近 忍¹⁾、前田 訓子¹⁾、飯田 通久¹⁾、井岡 達也³⁾、高橋 秀典¹⁾、永野 浩昭^{1,2)}

¹⁾ 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

²⁾ 山口大学 細胞デザイン医科学研究所

³⁾ 山口大学医学部附属病院 腫瘍センター

O6-5 術前化学療法後の膵管腺癌における未成熟腫瘍周囲TLSは不良な予後と関連する

鍋屋 まり (なべや まり)¹⁾、中島 正夫¹⁾、恒富 亮一¹⁾、徳光 幸生¹⁾、新藤 芳太郎¹⁾、松井 洋人¹⁾、渡邊 裕策¹⁾、友近 忍¹⁾、飯田 通久¹⁾、高橋 秀典¹⁾、井岡 達也²⁾、永野 浩昭¹⁾

¹⁾ 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

²⁾ 山口大学医学部附属病院 腫瘍センター

O6-6 術前化学放射線治療が施行された膵癌における放射線誘導抗腫瘍免疫に関する腫瘍病理学的検討

梅宮 和真 (うめみや かずま)、竹本 靖、吉本 由哉、鈴木 義行

福島県立医科大学 医学部 放射線腫瘍学講座

11月7日(金) 第1会場 (KDDI維新ホール 1F メインホール)

9:00~10:30 ワークショップ2「腫瘍免疫学の最前線2」

座長：藤原 俊義(岡山大学学術研究院医歯薬学域 消化器外科学)
河本 宏(京都大学医生物学研究所 再生免疫学分野)

W2-1 シングルセル解析から解き明かす腫瘍微小環境

(基調講演) 廣橋 良彦(ひろはし よしひこ)、箕輪 智幸、村田 憲治、鳥越 俊彦
札幌医科大学 医学部病理学講座病理第一分野

W2-2 卵巣癌に対する抗PD-1抗体治療効果B細胞のクローン多様性変化と融合遺伝子の関連

濱西 潤三(はまにし じゅんぞう)^{1,2)}
¹⁾ 国立病院機構 京都医療センター 産科婦人科
²⁾ 京都大学大学院医学研究科 婦人科学産科学

W2-3 p53搭載腫瘍融解アデノウイルスによるPANoptosisを介した免疫原性細胞死

半澤 俊哉(はんざわ しゅんや)¹⁾、黒田 新士¹⁾、松本 眞琴¹⁾、皆木 仁志¹⁾、片山 哲也¹⁾、實金 悠¹⁾、門脇 大輔¹⁾、
吉田 有佑¹⁾、坂本 真樹¹⁾、橋本 将志¹⁾、金谷 信彦¹⁾、垣内 慶彦¹⁾、菊地 寛次¹⁾、香川 俊輔¹⁾、田澤 大¹⁾、
浦田 泰生²⁾、藤原 俊義¹⁾
¹⁾ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学
²⁾ オンコリスバイオファーマ

W2-4 膵臓癌に対するオートファジー阻害はp53搭載腫瘍融解ウイルスの抗腫瘍免疫応答を増強する

高橋 洋祐(たかはし しょうすけ)¹⁾、田澤 大^{1,2)}、岡田 尚大¹⁾、安井 雄一¹⁾、大島 圭一朗¹⁾、金谷 信彦¹⁾、
垣内 慶彦¹⁾、菊地 寛次¹⁾、黒田 新士¹⁾、浦田 泰生³⁾、香川 俊輔¹⁾、藤原 俊義¹⁾
¹⁾ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学
²⁾ 岡山大学病院 新医療研究開発センター
³⁾ オンコリスバイオファーマ

W2-5 JMJD6過剰発現はBRD4を介してPD-L1発現を誘導し胃癌の悪性度と免疫逃避を促進する

石田 怜(いしだ りょう)、小松 周平、大橋 拓馬、今村 泰輔、木内 純、西別府 敬士、高嶋 祐助、神谷 肇、濱田 哲司、
山内 大輝、金澤 宏恕、名西 健二、清水 浩紀、有田 智洋、小菅 敏幸、小西 博貴、山本 有祐、森村 玲、藤原 斉、
塩崎 敦
京都府立医科大学 消化器外科

W2-6 肝細胞癌における腫瘍血管内皮細胞によるIL-4を介した腫瘍関連マクロファージのM2分極化

的羽 大二郎(まとば だいじろう)¹⁾、野田 剛広¹⁾、秋田 裕史¹⁾、佐々木 一樹¹⁾、向井 洋介¹⁾、長谷川 慎一郎¹⁾、
山田 大作¹⁾、富丸 慶人¹⁾、高橋 秀典¹⁾、和田 尚²⁾、土岐 祐一郎¹⁾、江口 英利¹⁾
¹⁾ 大阪大学大学院 消化器外科学
²⁾ 大阪大学大学院 臨床腫瘍免疫学

10:35~11:40 特別講演2「臨床現場とデータ科学をつなぐAIシステム医学」

座長：吉本 由哉(福島県立医科大学医学部 放射線腫瘍学講座)

SL2 臨床現場とデータ科学をつなぐAIシステム医学

浅井 義之(あさい よしゆき)^{1,2,3)}
¹⁾ 山口大学大学院医学系研究科 システムバイオインフォマティクス講座
²⁾ 山口大学大学院医学系研究科・医学部附属病院 AIシステム医学医療研究教育センター
³⁾ 山口大学 細胞デザイン医科学研究所 システム医学情報研究部門

11:50~12:50 ランチョンセミナー3「進化する胃癌治療—免疫療法への期待と可能性—」

座長：有上 貴明（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科外科学講座 消化器外科学）

LS3-1 外科医視点で考える長期生存を目指す時代の胃癌薬物治療

柳本 喜智（やなぎもと よしとも）

大阪国際がんセンター 消化器外科

LS3-2 進行胃癌一次治療における作用機序に基づいた薬剤選択の実践的戦略

田中 浩明（たなか ひろあき）

泉大津急性期メディカルセンター

共催：小野薬品工業株式会社／ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

13:00~13:20 総会

13:25~14:45 シンポジウム3「がん免疫治療の最前線（臨床）」

座長：松橋 延壽（岐阜大学 消化器外科・小児外科学）

吉村 清（昭和大学臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学部門）

S3-1 腸内細菌修飾によるがん免疫療法の有効性向上

（基調講演） 吉村 清（よしむら きよし）^{1,2)}

¹⁾ 昭和医科大学 臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学部門

²⁾ 昭和医科大学 医学部 内科学講座腫瘍内科学部門

S3-2 非小細胞肺癌に対する術前免疫化学療法の経験と病理学的検討

尾崎 有紀（おざき ゆき）、丸谷 慶将、猪俣 頌、山口 光、峯 勇人、渡部 晶之、武藤 哲史、岡部 直行、濱田 和幸、鈴木 弘行

福島県立医科大学 呼吸器外科学講座

S3-3 HER2陰性切除不能進行再発胃癌に対するNivolumab併用一次化学療法の当院での治療成績

藤林 勢世（ふじばやし せいと）、近石 和花菜、遠藤 真英、松橋 延壽

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科

S3-4 進行胃癌に対するICI併用化学療法の治療効果予測因子としてのオステオサルコペニアの臨床的意義

小田原 晃（おだはら ひかる）、川崎 洋太、有上 貴明、松下 大輔、大久保 啓史、下之園 将貴、佐々木 健、大塚 隆生

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 消化器外科学

S3-5 高齢者食道がんにおけるイピリムマブ＋ニボルマブ療法の有効性・安全性の検討

池田 剛（いけだ ごう）¹⁾、鶴井 敏光¹⁾、鈴木 梨沙子¹⁾、入口 菜々¹⁾、石黒 智之¹⁾、大熊 遼太郎¹⁾、下川 雅之¹⁾、有泉 裕嗣¹⁾、広本 昌裕²⁾、斎藤 祥²⁾、茂木 健太郎²⁾、山下 剛史²⁾、有吉 朋丈²⁾、久保田 祐太郎¹⁾、五藤 哲²⁾、和田 聡^{1,3)}、吉村 清^{1,4)}、角田 卓也¹⁾、堀池 篤¹⁾

¹⁾ 昭和医科大学 腫瘍内科

²⁾ 昭和医科大学 食道がんセンター

³⁾ 昭和医科大学 臨床薬理研究所 臨床腫瘍診断学

⁴⁾ 昭和医科大学 臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学